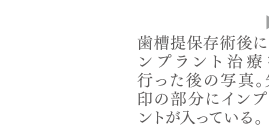
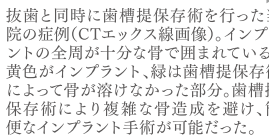
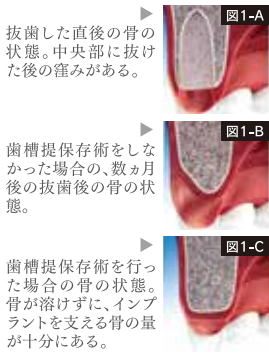


歯槽保存術で安全・安心・楽々なインプラント治療を

科学の力で骨が溶けることを予防します

歯を失ったときにインプラント治療を行えば、健康な歯のようにしっかりと噛め、見た目も良くすることが出来ます。インプラントには支える骨が必要になります。骨がない場合は、骨を再生・造成します。骨の再生や造成は成功率が高い確実な治療ですが(第9弾参照)、大掛かりになり、難しい手術になることがあります。

歯を抜歯すると、30〜70%の骨が溶けてしまうことが分かっています。歯周病や虫歯で炎症が起きている場合は特に骨が溶けやすくなります(図1・A・B)。一方、抜歯と同時に歯槽保存術(Ridge preservation)を行うと、骨が溶けるのを防ぐことができます(図1・C)。抜歯と同時に骨がなくならないように人工骨を抜



歯の穴に入れ込み、結合組織や人工膜で固定します。場合によっては、組織成長を促す薬も併用します。その後4〜6カ月ほど待ち、インプラントを入れることになります。十分な骨があるため、インプラント手術は小さく簡単になることがほとんどで、複雑な骨造成手術がいらなくなります(図2・A・B)。そのため、皆様の負担が少なく済みます。現代科学の進歩のおかげで、確実な治療になりました。

インプラントをできるだけ長く使って健康ライフを送りましょう

インプラントはできるだけ長く、できるだけ一生使っていた

歯槽保存術後にインプラント治療を行った後の写真。矢印の部分にインプラントが入っている。



医療法人 くのうえ市丸歯科 院長市丸英二先生

長崎大学歯学部大学院卒業後、米国スタンフォード大学医学部研究員を務める。長崎大学臨床教授、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

だきたいと思っています。そのためには、インプラント治療の前に歯周病の治療と予防をじっくりと行い(通常2ヶ月程度)、歯周病を退治しておくことが大切です。歯周病治療をおざなりにしてインプラント治療をすると、インプラントに歯周病が感染し「インプラント周囲疾患」になるケースが非常に多いことが報告されています。第5弾でご説明しているように、早い・安いインプラント治療よりも、「じっくり確実なインプラント治療」を受けていただくことを強くオススメします。歯槽保存術も「じっくり確実」のオプションの1つです。かかりつけ歯科医や専門家にぜひご相談下さい。

※高度先進医療は、保険外診療になることがあります。

TEL.0942-81-5410 住/鳥栖市蔵上2丁目187番地 URL www.10shika.jp

医療法人 くのうえ市丸歯科



院長 市丸英二(歯学博士)
 ・長崎大学臨床教授
 ・日本歯周病学会認定 歯周病専門医・指導医
 ・長崎大学大学院(歯周病学)卒

副院長 山口竜亮(歯学博士)
 ・長崎大学大学院(歯周病学)卒



お問い合わせ・ご予約
☎0942-81-5410
 鳥栖市蔵上2丁目187番地



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~13:00	◎	祝日のある週のみ診療	◎	◎	◎	◎	休
15:00~19:00	◎	◎	◎	◎	◎	休	休

※4/30(火・祝)~5/2(木)はお休みです。 ※5/14(火)は診療日です。



くのうえ市丸歯科 検索 http://www.10shika.jp